

昭和62年

大報

12月号

No.384

おおす

市民のうごき

昭和62年10月31日現在

人口	39,869人	(△1)
男	19,073人	(+15)
女	20,796人	(△16)
世帯数	12,777世帯	(△11)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和62年12月1日発行 発行 大洲市役所 編集 市長公室 〒795 大洲市大洲690-1 ☎24-2111



＝肱川の風景 ⑪＝ 川 霧

肱川の水が、日光を受けて蒸発し、夜間に冷やされると、大洲名物の霧が発生します。

夜間の放射冷却が原因となっているため放射霧と呼ばれています。大洲は、盆地にあるため、他の地域と比べて最高気温が高く、最低気温は低くなっています。これに加えて、肱川からの蒸発量が多いため、とても深い霧が発生するようです。

霧が発生するとき、肱川の表面水温と気温との差は七度以上になっています。

また、霧の出た日は、晴れる場合が約六〇%を占め、雨が降るのは六%くらいしかないということです。

今月号の主な内容

- なくそう交通死亡事故… 2・3P
- 昭和62年市民運動会… 4・5P
- ガンは死因の第1位… 6P
- 古式泳法で好成績…
大洲神伝流… 7P
- 年末年始の火災を防ごう… 8P
- 市役所の年末年始… 9P
- 子供ねり相撲甚句… 10P
- 休日急患診療… 12P

なくそう交通死亡事故

年末は特に注意を



十二月は一年のしめくりの月、なにかとあわただしくなります。ゆとりがなくなつてスピードを出し過ぎたり、忘年会で酒を飲んで車を運転したりしての交通事故が多発します。

大洲市内では、十月に二件の交通事故死亡事故が相次いで起こり、昨年同時期の死者を上回っています。

十月三十日には、交通死亡事故抑止緊急対策会議が市役所で開かれ、大洲交通安全協会などの十二団体が、死亡事故をなくすための対策を練り、交通事故防止の大会宣言をしました。

忙しい年末ですが、市民一人ひとりが事故防止を心がけて、新しい年を楽しく迎えるようにしましょう。

大洲市の現状

十月末日現在、大洲市では、百九十五件の事故が起こり、負傷者は二百四十七人、死者は三人となっています。

この数字を昨年と比べると、発生は十七件、負傷者は三千七人減っていますが、死者だけは一人増えています。

今年の交通事故は、主要幹線道路、特に国道56号で多発しています。交通事故の八〇％が主要幹線道路で起こり、約四五％が国道56号で発生しています。

また、交通量が少ない夜間から早朝にかけての事故が多くなるのも、特徴の一つです。

スピードの出し過ぎは命とり

愛媛県内では、十月十六日現在で、百人の交通死者が出ています。その中では、スピードの出し過ぎによるものが二十五人と最も大きな原因です。(円グラフ参照)

車の持つ最も本質的な機能は、そのスピードにあります。その反面、スピードが速くなるにつれて、事故の危険は高まっています。

次の三点によく注意してください。

① 視力の低下

スピードが増すにつれて、視力は落ち、視野も狭くなります。

10月末までの大洲市内の交通事故

	10月 末 在 現	昨 同 年 期
件 数	195	212
負傷者	247	284
死 者	3	2

視力は、時速三十キロぐらいで通常の約四分の三、時速七十キロになると半分にまで低下します。

視野も、時速四十キロで一〇〇度くらいあるものが、時速百キロになると、わずか四十度くらいになってしまいます。

② 車はすぐに止まらない

車はスピードが出ていれば出て

いるほど、停止するまでに長い距離が必要です。また、路面の状況によって、停止距離は大きく異なります。

雨の場合は、およそ一・五倍の距離が必要です。

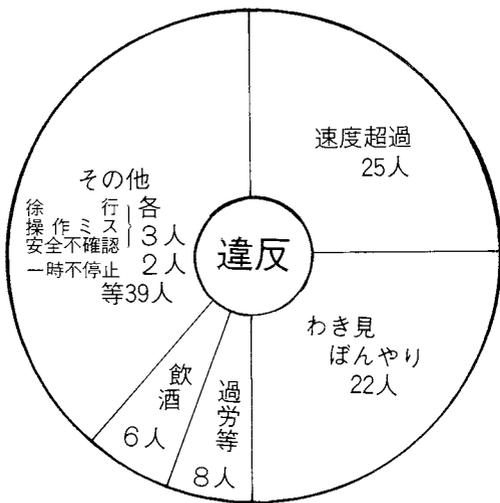
特に冬場は、雪が降ったり、道路が凍結したりするため、スリップしやすくなっており、状況に応じたスピードで運転することが必要です。

③ 衝撃はスピードの二乗に比例

時速二十キロが六十キロになった場合、スピードは三倍に増えていますが、衝撃は九倍にもふくれあがります。

ちなみに時速六十キロの車が壁に衝突すると、ピルの五階から落ちたときと同じ衝撃を受けます。

▼交通死亡事故の原因



資料・愛媛県警察本部

子供とお年寄りを

事故から守ろう

愛媛県の交通死者百人のなかで六十歳以上の人は、四十一人にもなりません。

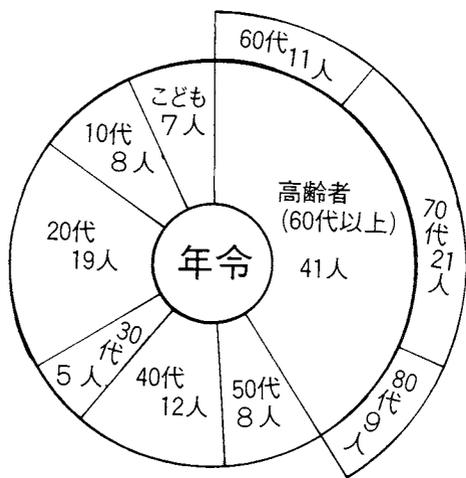
「交通環境」の変化についていけません。昔の記憶に頼って、交通量が多くなり、交通ルールも複雑になった現在の状況を認識できないケースが多いからです。

クルマ社会の中で弱い立場のお年寄りや子供たちが、交通事故の被害を受けるのは悲しいことです。特にドライバーは、お年寄りと子供の行動特性をよく考えてみましょう。

▼お年寄りの場合
▼変化する交通環境に対応できないケースが多い
お年寄りは、交通ルールを初め

▼体力や運動機能の衰え
年をとると、当然、体力をはじめ運動機能や感覚機能は低下します。しかし、本人はまだ若いつもりでいるため、現実と意識とのギャップが起こり、事故が起きやすくなります。

▼死亡者の年齢構成



▼ときに、身勝手な行動も

基本的な交通ルールを知っているお年寄りでも、身勝手としか思えない行動をとることがあります。例えば、信号が赤でも横断したり、道路を斜めに渡ったりするようになることです。

▼子供の場合

子供、特に幼児の行動特性は、次のようなものです。

- ▼ひとつのものに関心が向くと周囲のものが目に入らなくなる。
- ▼手を挙げれば、車は止まってくれるものと思っている。
- ▼「危ないよ」と抽象的な言葉だけでは、理解できない。
- ▼物かげで遊ぶのが好き。
- ▼音のする方向を正確に判断できない。
- ▼いつも通る道路では交通ルールが守られても、初めての道では守れない。
- ▼こうしたお年寄りや子供の心理や行動特性を心にとめて、事故のないよう安全運転を心がけてください。

乗るなら飲むな 飲んだら乗るな

「自分は、酒に強いからこれぐらいは大丈夫」と思っても、アルコールは少しでも体に入ると、運動機能や感覚機能を損います。

自制心や判断力が鈍っていても自分では気がつかず、かえって運転がうまくなったように感じてしまうのがアルコールの恐ろしい点です。

それでは、お酒を飲むとどんな機能障害が現れるのでしょうか。▼視力障害、特に動いているものを見る動体視力に障害が起こる。また、視野も狭くなります。

▼運動神経の機能が低下し、ブレーキの遅れ、アクセル、クラッチなどの操作が乱暴になる。

▼集中力がなくなり、疲労感が高

まる。

たとえば、お酒を飲んで車を運転し、ブレーキを踏む動作が一秒遅れたとします。その場合、時速四十キロで走っていたら、その一秒の間に車は十一メートル走っており、事故の危険性は高まります。ひとたび事故を起こすと、死亡事故となりやすい飲酒運転。

お酒を少しでも口にしたら危険を自覚して、「乗るなら飲むな、飲んだら乗るな」を徹底させましょう。



年末年始に“特別警戒”



警察では、十二月初めから、翌年一月中旬まで、年末年始の特別警戒を行い、犯罪や事故の防止

に努めています。

次のようなことに、市民のみなさんも注意してください。

- ▼外出する時は、必ずカギをかける。
- ▼混雑する場所ではスリに注意
- ▼訪問販売の契約は慎重に
- ▼銀行で大金を扱うときは、一人では行かない。
- ▼また、交通事故防止のため、飲酒運転は絶対に行わない。させない。
- ▼シートベルトの着用を。

柳沢地区5連覇

市民運動会



▲各地区が次々と入場



▲三善地区 窪田亀一さんが選手宣誓



▲緊張するスタートの瞬間

十月十日の体育の日、喜多小学校を会場に市民運動会が開催されました。
 好天に恵まれ、市民約五千人が参加、リレー、綱引きに気持ちよい汗を流しました。
 午前九時に始まった開会式では、昨年、優勝した柳沢チームから優勝旗が返還され、選手宣誓、準備体操が行われ、競技が開始されました。
 招待種目の小学生リレーから、最後の年齢別リレーまで、地区を代表した選手たちにより、熱戦が繰り広げられました。
 今年も柳沢地区が、圧倒的な強さを見せ、五連覇を成し遂げました。二位は八多喜地区、三位は三善地区で、昨年の十二位から七位になった肱北Bと、7位から四位になった平野地区に努力賞が贈られました。

市民運動会得点表

地区名	種目	玉入れ	ポテトレース	つなひき	ボール送り	和気あいあい	キヤッチボール	糸まき競走	年齢別リレー		得点合計	順位	昨年順位	備考	
									男	女					
柳沢		12	12	10	12	11	11	7	11	3	10	99	1	1	優勝
八多喜		9	11	12	11	7	6	12	12	7	4	91	2	4	準優勝
三善		10	10	7	9	5	12	6	6	8	3	76	3	3	
平野		7	9	4	6	8	8	9	4	11	9	75	4	7	努力賞
新谷		8	6	7	8	12	9	3	7	10	1	71	5	2	
菅田		6	2	11	10	6	5	11	10	5	2	68	6	6	
肱北B		1	8	4	5	2	7	1	5	12	8	53	7	12	努力賞
南久米		5	5	4	1	1	4	8	9	4	11	52	8	10	
肱北A		3	3	4	7	9	10	2	3	6	5	52	9	8	
上須戒		2	4	7	4	10	1	5	8	2	7	50	10	5	
大川		4	7	4	3	4	2	10	2	1	12	49	11	11	
肱南		11	1	4	2	3	3	4	1	9	6	44	12	9	



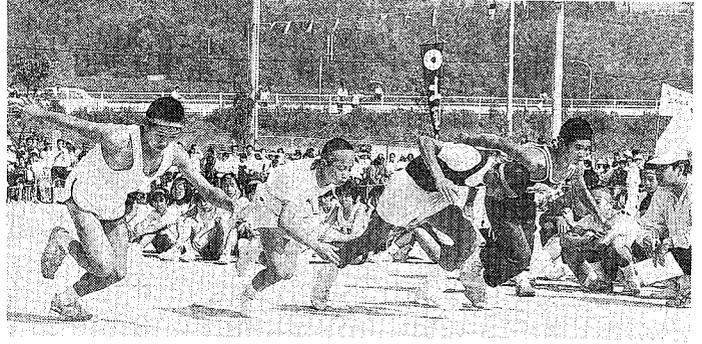
▲たからひろいにチビッコ大集合



◀ 大丈夫かな、落ちないかな

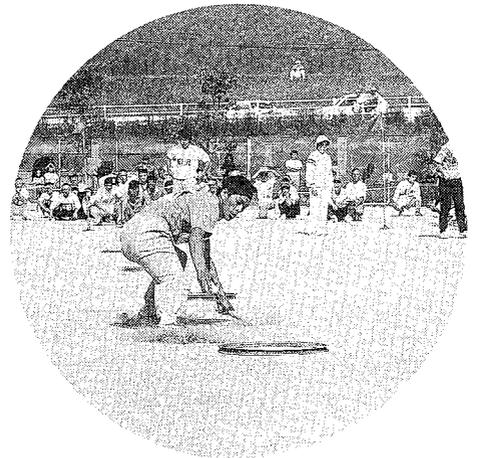


◀ なつかしい子連れ
狼も応援に登場

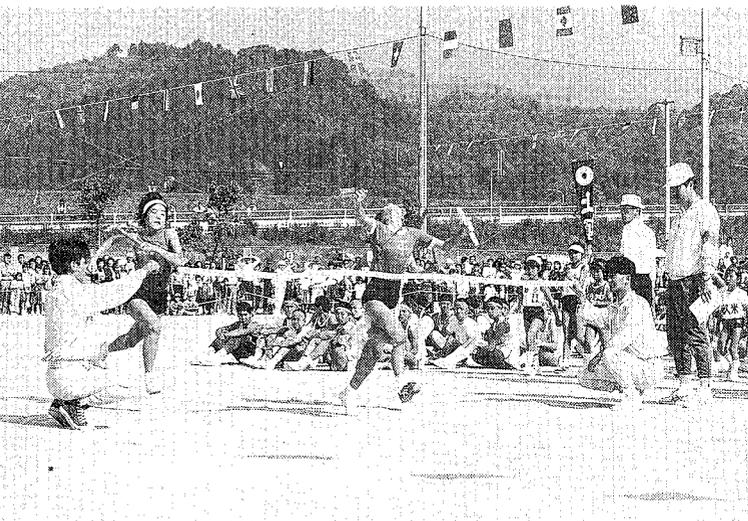


▲けんめいにスタートダッシュ

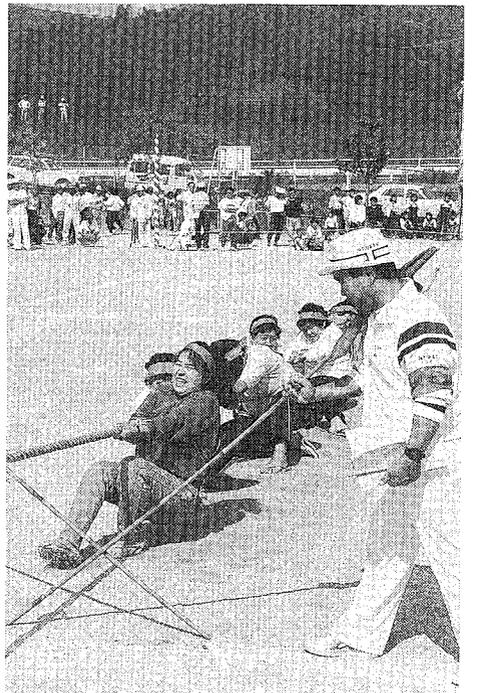
カメラでおった運動会



▲必死にブレーキをかけて



▲やった！一着でゴール



▲ワラジをはいて力をふりしぼる！

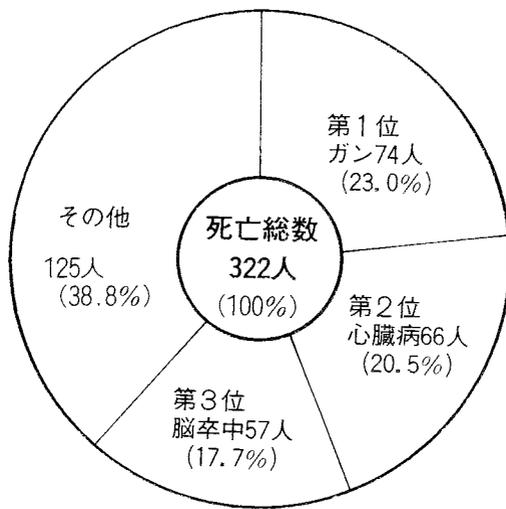
ガンは死因の第一位

昭和61年大洲市の死亡統計

国保のしおり ⑦

グラフ1 死因の第1位はガン

—昭和61年大洲市の死亡統計より—



昭和六十一年大洲市の死亡統計によると、総死亡数は三百二十二人で、死亡原因としては、ガンが七十四人(二三%)と一番多くなっています。(円グラフ参照)

昭和六十年までは、脳卒中や心臓病による死亡が多かったのですが、今回初めてガンが第一位になりました。

十年前の昭和五十一年には、脳卒中で亡くなる人が、年間百四人で死因の第一位でしたが、現在では五十七人に減少しています。しかし、これは脳卒中で倒れる

もっとも多い胃ガン

(図2)の部位別にみたガン死亡数によると、胃ガンによる死亡数をもっとも多く、次いで、肺ガン、肝臓ガンとなっています。

全国的には、最近、急速に増えてきたのが肺ガンで、大腸や肝臓のガンも増加する傾向にあります。女性では、子宮ガンが減って、

乳ガンが増えつつあります。

胃ガンの死亡者は、男女ともに多く、日本人のガンの特徴となっています。

しかし、数のうえでは多いのですが、他のガンとの差は縮まりつつあります。

このように、ガンの発生部位に変化が現われているのは、全国的にみられる喫煙の習慣と西欧化したつづある食生活が原因とされています。

定期検診のすすめ

ガンの自覚症状は、病気が相当進まないといわれない場合がかなりあります。しかもガンの一般的な症状といわれているしこりや出血は、ガン特有のものではなく、他の病気にもみられる症状です。

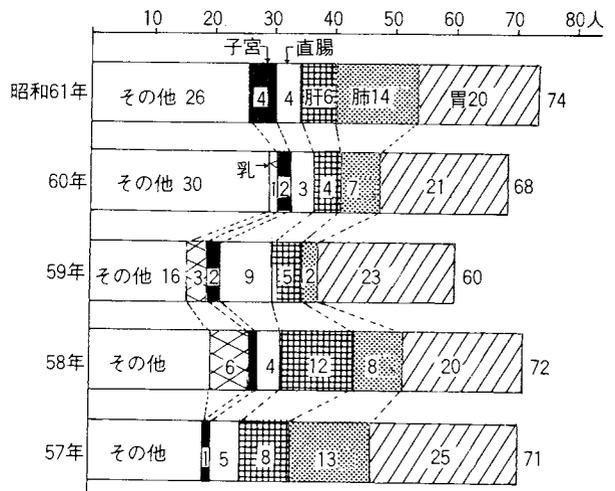
たとえば、血痰が出たからといって、肺ガンとは限らず、肺炎や気管支炎の場合もあります。

むやみに不安がらず、異常に気付いたら早めに検査を受けることが大事です。

ガンの場合は、早期発見が何より大切です。早ければ早いほど治

グラフ2 部位別にみたガン死亡数の年次推移

—大洲市の死亡統計より—



る率も高くなります。

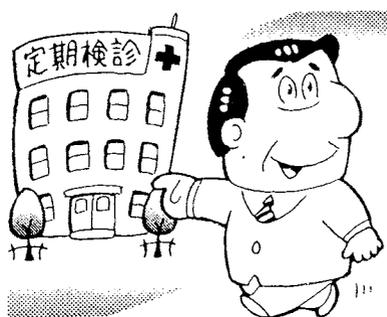
早期発見、早期治療のために少なくとも年に一回は、定期検診を受けましょう。

ガンを防ぐための十二カ条

- ① 偏食しないで、バランスのとれた栄養をとる。
- ② 毎日変化のある食生活をする。
- ③ 食べ過ぎを避け、脂肪は控え目に。
- ④ お酒は、ほどほどに。
- ⑤ タバコを少なくする。
- ⑥ 適量のビタミンと繊維質のものを多くする。
- ⑦ 塩辛いものは少なめに、熱いものは冷ましてから。
- ⑧ 焦げた部分は避ける。

ガンは防げるまず検診

- ⑨ カビの生えたものに注意。
- ⑩ 過度の日光には当たらない。
- ⑪ 過労を避け、適度のスポーツを。
- ⑫ からだを清潔に保つ。



農家で体験学習・神奈川県修学旅行生

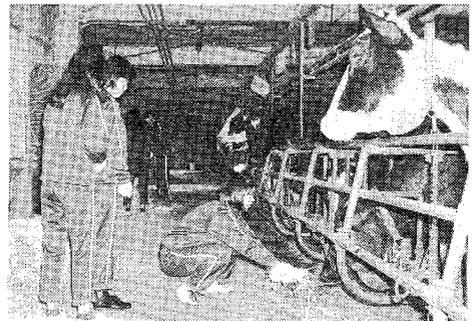


▲愛媛県蚕糸農協を見学している生田高校生

野菜の取り入れ や牛の世話

大洲市は、将来の観光客誘致の一環として積極的に修学旅行生の受け入れに取り組んでいます。
今年、神奈川県立生田高校、大師高校の二校が、十月に大洲を訪れ、野菜の取り入れ、牛の世話などの農作業を体験しました。

神奈川県立生田高校
生田高校の生徒五十四人は、十月五日に大洲へ到着、六日から七日にかけて農家に泊まり込んで、農家の生活を体験しました。
六日に富士山や愛媛県蚕糸農協を見学した後、大洲市中核農業者協議会（滝本亀六会長）に属する



▲牛にエサをやる大師高校生

農家十三戸に、二、六人の小グループに分かれて、いよいよ体験農作業を開始。

各農家で、クリやしいたけの収穫、養蚕、牛や豚の世話に汗を流していました。受け入れ先の農家の人は、「ケガをさせたら大変」、「食事が合うかしら」などという心配していた様子ですが、無事に作業も終わり、「ちよつと疲れたけど面白かった」と明るい生徒たちの姿に、一安心した様子です。

神奈川県立大師高校

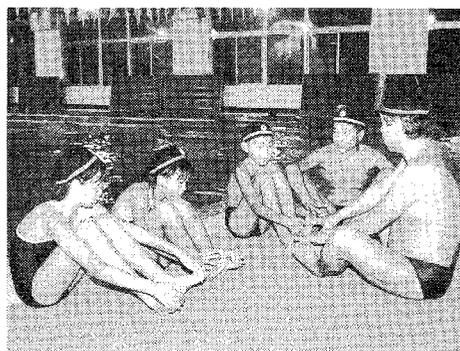
大師高校は、生徒二十七人が大洲の平野牧場（亀井智さん経営）を十月二十六日に訪れ、牛にエサをやったり牛舎の清掃をしました。約八十頭いる牛に、初めはコワゴワ近づいていましたが、すぐに慣れ、元気に作業をしていました。

古式泳法大会で好成績

神伝流の後継者五人

第三十二回日本泳法大会（勸日本水泳協会主催）が、八月二十二日に静岡県の修善寺町で開かれ、大洲から古式泳法、ジュニアの部に参加した五人が、優秀な成績をあげ、表彰を受けました。

大洲から出場したのは、下野亜矢（11歳、喜多小六年）、松田泰三（11歳、大洲小六年）、篠原誠治（12歳、久米小六年）、高村優子ちゃん（11歳、喜多小五年）、河野明仁くん（14歳、北中二年）の五人です。



ました。（評価は、秀、優、良の三つがありますが、秀の評価はめつたに与えられるものではないという事です）
大洲神伝流からは、約十年前からこの大会に出場していますが、昭和四十四年に弘岡滋子さん（当時大洲高等学校の生徒）がシニア泳法大会で日本一になったのに次ぐ快挙です。

全国からは約五十人が、ジュニア泳法の部に出場して、呼吸の乱れや体がよく浮いているかなど厳しい審査を受けましたが大洲の神伝流は、さすがに発祥の地だけあって泳ぎの型がはつきりしているという事です。

今回、生徒たちを引率した一色晃先生（北中学校教諭）は、「これからも大洲に神伝流を広め、ふるさとを忘れないためにも伝承させていきたい。この子たちがもうすこし大きくなったら、シニア泳法の部に出場させてみようと思います」と語っていました。

古式泳法の「二段伸び」と「翹伸び」の二種目に出場、七人の審査員が見守る中、約三千人を泳いで、見事「優」の評価を与えられ

（写真は、一色先生から神伝流の指導を受けているところ）

こころでずか

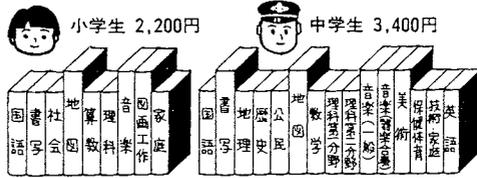
税のゆくえ④

教職員の給与、校舎の建設、教育費や学校給食への補助など、国と地方公共団体で、皆さんの教育費を負担しています。

このほか、宇宙開発や海洋開発、がん対策など、科学技術の振興にも力を入れています。

このように、教育と科学技術の振興のための費用を「文教及び科学技術振興費」といいます。

小、中学生1人当たり教科書費用(年間)



人権週間

12月4日～10日

- 毎年、十二月四日から十日までの一週間は、人権週間です。
- 人権週間は、国民一人ひとりが人権というものをも再認識し、また、自己の行為によって他人の人権を侵していないか反省してみる週間でもあります。
- 今年の人権週間では、次の四項目が強調事項です。
- いじめ・体罰の根を絶とう
- 部落差別をなくそう
- 女性の地位を高めよう
- 障害者の完全参加と平等を実現しよう
- 差別、いじめなどでお困りの人は、お近くの人権擁護委員会へご相談を。(相談無料、秘密厳守)
- 大洲市の人権擁護委員は、次の人です。(敬称略)

八多喜 兵頭典次 ☎260493

新谷 矢野嘉彦 ☎250474

北只 玉木道輝 ☎243794

大洲 磯崎邦夫 ☎243773

大川 東定一郎 ☎270025

こんなときには
検察審査会へ

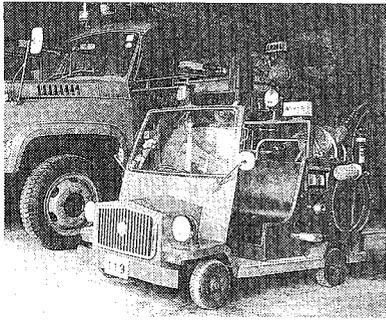
年末・年始の火災を防ごう

年末年始は、何かと忙しく、また、コンロやストーブを使うため火災の起こりやすい時期です。災害の中でも火災は、人災の色合いが強く、心がけ次第で予防することが出来ます。

たき火 たき火をしているときは、その場を離れない。確実に消火する。近くに燃えやすい物を置かない。
たばこ すいがらは、確実に消火して灰皿に入れる。寝たばこをしない。くわえたばこで室内を歩かない。

二代目

ミニ消防車完成



このたび、消防署員手作りのミニ消防車が完成しました。子供たちに絶対的人気のあった初代「消ちゃん号」が老朽化したため作りかえたもので、大人二人が乗っても楽に走れるほど性能も大幅にアップしています。

電動式で大きさは、幅一・一メートル、長さ二・四メートル、高さ一・三メートルで、車体はグラスファイバー製です。車には、放水装置や回転灯、サイレン、はしごもつけられ、本物の消防自動車顔負けの装備です。

幼児や児童を対象とした火災予防行事を行うときには、大洲消防署へご連絡ください。

☎242665

市役所の 年末年始

大洲市役所では、年末年始の業務を次のように行います。
年末は、窓口が混雑しますから、ご用のある方は、お早目にお願ひします。

市民課（印鑑証明）

12月28日（月） 8時30分から16時30分まで印鑑
12月29日（火） 時30分まで印鑑
12月30日（水） 証明発行事務のみ行います。
1月4日（月） 出生、死亡などの届け出は、休日直者が受け付けます。

※この間の急用については、宿日直者にご相談ください。ただし、宿日直者で処理できないこともありまますので、ご協力をお願いいたします。

市役所本庁

12月28日（月）ご用納め（正午まで）
12月29日（火）
12月30日（水）
12月31日（木）
1月1日（金）
1月2日（土）
1月3日（日）
1月4日（月）ご用始め

市立大洲病院 ☎242151

12月28日（月）診療します。
12月29日（火）救急患者のみ診療します。
12月30日（水）
12月31日（木）
1月1日（金）
1月2日（土）
1月3日（日）
1月4日（月）診療します。

保健センター・老人福祉センター

12月28日（月）
12月29日（火）
12月30日（水）
1月1日（金）
1月2日（土）
1月3日（日）
1月4日（月）

「ゴミ収集・し尿くみ取り」

燃えるゴミの収集
12月31日（木）まで収集します。
1月1日（金）
1月2日（土）
1月3日（日）
1月4日（月）
収集します

※休みの間、ゴミを出したままにしないでください。
し尿のくみ取り
12月31日（木）
1月1日（金）
1月2日（土）
1月3日（日）
1月4日（月）
収集します

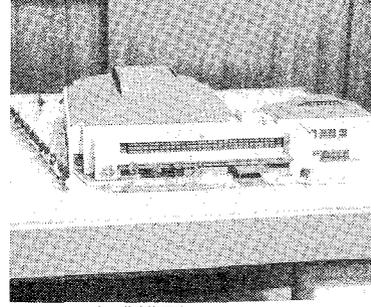
総合体育館の工事請負契約

第二〇四回大洲市議会臨時会

十月三十一日、臨時市議会が開催され、大洲市総合体育館新築工事の請負契約の締結について、二議案が提出され、それぞれ可決されました。

提出された議案は、次のとおりです。

▼大洲市総合体育館（建築・機械設備）新築工事の請負契約の締



▲完成模型

結について

契約の金額 九億一千万円
契約の相手方 高松市亀井町一等地三、鹿島建設株式会社四国支店
取締役支店長 八木賢一

▼大洲市総合体育館（電気設備）新築工事の請負契約の締結について

契約の金額 一億一千五百三十万円
契約の相手方 大洲市東大洲一八番地、四国電気工事株式会社愛媛支店大洲営業所 所長 山本忠博

同和教育 シリーズ

No.109

人権と同和教育

中江藤樹の人権教育（その二）

また大洲藩士の子で、大野了佐という青年がいました。彼は生来精神が薄弱で、その親は、人並みの生活はできまいとあきらめていました。しかしその向学心に感じました藤樹は、「我了佐において、ほとんど精魂を尽す」と述懐するほどの熱意をもって教え、ついに了佐をして医者として自立させ、後に彼は、宮内村（現西宇和郡保内町宮内）で開業し、喜寿（七十七歳）をまつとうしたと記録されています。まことに藤樹は、現代の障害者教育のさきがけであるといわねばなりません。

藤樹の逸話の中に、近江から京都まで駕籠（かご）に乗って行ったことが記されています。当時駕籠かきは卑しい職業とされ、「雲助」呼ばわりをされて軽蔑されていました。藤樹は駕籠かきに対して、性善・良知・良能のことを教えました。「駕籠かきも落涙して喜びしとなん」と書かれています。

また藤樹は、現代の通信教育ともいうべく、手紙をもって子弟を教え、そのうち百九十余通が保存されています。藤樹は、「与晦養軒」と題する書翰（しょかん）の中に、「クグツ三郎左衛門クリヤ少流へ御伝語の段申し聞かせ候。御心にかげられたじけなき由愚夫方より相心得申し遣わし候様との御事に候」といふ字句が見えます。

ここに「クグツ」とは「でこまわし」、「クリヤ」とは「矢つくり」のこと、ともに当時、差別されていた人々の職業でありました。文面から見ると、藤樹はこのような人々とも親しく交際していたことが知れます。

藤樹の弟子、熊沢蕃山の逸話の中に、加賀の飛脚が忘れた大金を届けた正直な馬引きの話があつて、皆さんも知っていられることと思いますが、「私は名もない馬引きでございます。ただ私の在所の近く小川村に中江与右衛門先生があつて、私はそこで講釈を聞かせていただいております」と答えるくだりがあります。

当時「馬借」といわれ、差別されていた馬引きをも教えてやまなかつた中江藤樹こそ、現代の人権教育の先覚者であるといわねばなりません。



子供ねり相撲甚句を披露 上須戒秋まつり



毎年十月二十五日は、上須戒の大元三嶋神社、天満神社のお祭りですが、今年七月に、大洲市の無形民俗文化財となった子供ねり相撲甚句（じんく）が披露されました。

上須戒の子供ねり相撲甚句は、江戸時代の末期には既に行われていましたが、昭和二十五年ごろからとだえ勝ちになっていました。

しかし、昭和五十二年に、保存会が結成され、地域をあげて保存に取り組んでいます。

この甚句は、小学校二年～六年生の子供十人が化粧まわし姿の力士となり、二人の行司（小学生）の文句に合わせて、はやしを入れながら円陣を組んで踊るもので、第一部シコ踏み、第二部甚句踊り、第三部東西文句、第四部弓取り式で終わります。

その素朴さと独特の節まわしなどが評価され、文化財に指定されましたが、心配されているのは、指導者が少ないこと。

現在は、当川盛江さん（農業・65歳）一人だけが指導を行っており、後継者の育成が強く望まれています。

この日、上須戒のお旅所や各民家で、相撲甚句を保存・伝承するためにビデオ撮影が行われました。子供たちも、寒い中、けんめいに踊っていました。この中から後継者が出てきてほしいものです。

新刊図書案内

- 浮世絵草書 野間 宏著
- アウグスティヌス講話山田晶著
- 新六法昭和63年版 三省堂
- 民事の訴訟 福井有利他著
- 被差別の文化・反差別の生きざま 福岡安則・他編
- 学習塾 結城 忠・他著
- 0歳 井深 大著
- 親と子の風景 渡辺弘純著
- ボード織りセーターの基礎 山野井佳子著
- 米の流通変革 佐伯尚美編
- 俳画 小田嶋十黄著
- 戦場の固き約束 木下恵介著
- イベント入門 熊野卓司著
- 体育あそび・ゲーム事典 三宅邦夫著
- いけばな花材ハンドブック7冊 工藤和彦著
- やさしい初歩のインドネシア語 舟田京子著
- 古代の恋愛生活 古橋信孝著
- 作家の肖像 東版新刊ニュース
- 一茶と山中家の人々山上次郎著
- 菜の花物語 椎名 誠著
- ベルリン物語 小田 実著
- 朱夏の女たち上・下五木寛之著
- 風のターン・ロード石井敏弘著
- 下駄の音 三浦哲郎著
- 現代北欧文学18人集谷口幸男編
- 敗れた者たち P・ヴァイス著

図書館

奥さん 訪問 No.78

霧に驚きました 都 美知子さん（大洲・39歳）

▼出身は京都で、嵐山の近くです。

▼初めて大洲に来た時は、田舎

だなあという感じがしました。

▼食べ物では、お魚がとてもおいしいですね。魚が嫌いだったのに

こちらに来てからは、食べられるようになりました。

▼南予の人は、話し方がゆっくり

していると聞かれています。京都の方がもっとゆっくりしています。

▼きれいな川や山があって、自然

がいっぱいという感じがします。海も

近くにあるし。

▼こちらは、やや交通の便が悪いですね。

▼一番驚いたのは、霧がすごい

ことです。いつも雨が降るのじ

やないかと思っていました。

▼主人（好司さん）とは、京都

で同じ会社に勤めていたのがき

っかけです。

▼子供は、律子（小六）、順司

（小五）、由美子（小三）の三

人ですが、人に迷惑をかけない

人間になってほしいと思います。

▼十月にお店（ブティック）を

開いたので、大忙しです。

▼こちらは、おこもりやたのも

しなどの付き合いが多いですね。



▲臥龍山荘をせん定奉仕大洲造園組合
 十月二十四日、大洲造園組合（矢野一和組合長）は、臥龍山荘のせん定奉仕を行いました。ツゲやマキなどの庭木を、小雨の降る中、ていねいにせん定、今年から始めた奉仕作業ですが、今後毎年一、二回は行っていくということです。



▲園児大喜び 竹田一日保育所長

大洲市保育会（楠緑会長）主催の一日保育所長に、今年は竹田伝（大洲市議会厚生文教委員長）さんが選ばれ、柳沢保育所で一日保育所長をつとめました。竹田委員長は、園児と共に遊戯やゲームの後、得意の手品も披露、園児も大喜びでした。



▼20競技に熱戦展開 障害者スポーツの集い

10月30日、大洲学園を会場に大洲市障害者スポーツの集い（大洲市国際障害者年推進協議会主催）が開かれました。大洲学園、大洲育成園、大洲市身体障害者協議会などから約400人が参加、玉入れやつな引きなど20競技に気持ちよい汗を流していました。



▲沖縄国体に出場 サッカーの亀山くん

10月25日から沖縄県で開かれる国民体育大会、少年サッカー愛媛選抜チームに亀山英一くん（大洲高等学校3年）が選ばれ、市役所の市長室で、10月20日、市長から激励のことばを受けました。亀山くんは、100mを11秒台で走る俊足のウイングでスピードを生かしたドリブルが得意とのこと、「大洲高等学校の代表としてがんばります」とはりきっていました。



成人式（第四十回）のご案内
 大洲市では、成人となるみなさんの前途を祝福して式典を行います。
 対象者には、十二月上旬に葉書で案内していますが、もしもれていない人がありましたら、教育委員会へお申し出ください。
 転出されている人でも、十二月二十五日までに、各公民館へ申し込みすれば、成人式に参加できます。
 日時 一月十五日 午前九時から
 場所 大洲市役所
 対象者 昭和四十二年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人
 詳しくは教育委員会社会教育体育課へお問い合わせください。
 ☎2111 内線389

保健センターだより

☎243775

乳幼児



健康診断

実施日 該当者

12月1日(火) 昭和62年7月生※
12月8日(火) 昭和62年4月生
12月10日(木) 昭和61年5月生※
12月15日(火) 昭和62年1月生※
12月22日(火) 昭和59年11月生※
※は肱南・肱北地区のみ
受付時間 13時~13時30分
実施場所 大洲市保健センター
持参品 母子健康手帳

12月20日(日) 村上内科(常磐町)

☎242346 大洲中央病院

☎244551 久保医院(新谷)

12月27日(日) 大洲中央病院

☎244551 市立大洲病院

☎242151 市立大洲病院

12月28日(月) 市立大洲病院

12月29日(火) 加戸病院(若宮)

12月30日(水) 大洲中央病院

12月31日(木) 大洲中央病院

1月1日(金) 大洲中央病院

1月2日(土) 三瀬内科(八多喜)
☎260003 大洲中央病院

1月3日(日) 町野医院(森山)

☎270002 大洲中央病院

☎244551 大洲中央病院

歯科相談(大洲保健所)

実施日 内容

12月16日(水) 成人歯科相談

12月23日(水) 乳幼児歯科相談

☎243165

献血のお知らせ

次のように採血車が巡回しますので、ご協力をお願いします。

実施日 12月3日(木)

場所 時間

市立大洲病院 9時30分~12時

大洲郵便局 13時~14時30分

JRバス大洲営業所(若宮) 15時~16時

まじゅうろの

おくりもの

金一封 柚木 小倉 和芳

金一封(寄付金) 大洲

N.T.T・大洲電報電話局社員一同(指定配分)

金一封(平野地区社協へ)

金一封 平野町 横畑 照徳

金一封(八多喜地区社協へ)

金一封 八多喜町 田口 綾子

金一封(上須戒老人会と上須戒地区社協へ) 上須戒 稲田 辰雄

金一封(身体障害者協議会と市社協へ) 若宮 松林 義隆

金一封(生花の謝礼その他を大洲学園へ) 田口 東 キリエ

相談ごと案内

いずれも無料です。気軽にご利用ください。

▶交通事故相談

とき 12月8日 10時~15時
12月21日

ところ 市役所別館3階会議室

▶人権相談

とき 12月21日 13時~16時

ところ 社会福祉協議会事務局

▶法律相談

とき 12月7日 13時~16時

ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談

とき 12月1日、10日、25日
13時~16時

ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談

とき 毎日の執務時間中

ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談

とき 12月19日 9時~12時

ところ 市役所1階会議室

急ぐ時は☎243794(玉木)まで

▶社会保険相談

とき 12月21日 10時~16時

ところ 大洲商工会議所

担当 松山西社会保険事務所

▶医師・栄養士による健康相談

とき 12月24日 13時~15時

ところ 大洲市保健センター

対象 40歳以上の人

▶何でも相談

とき 毎日の執務時間中

ところ 大洲隣保館☎246100
大洲福祉会館☎250947

▶不動産無料相談

とき 12月15日 9時~16時

ところ 宅建協会大洲支部

フヂエダ花店2階、常磐町4

今月の納税

固定資産税(第3期)

納期は12月25日

金一封(おみこし行列の寄付の一部を柳沢地区社協へ) 柳沢 柳沢保育所

(物品の口座)

赤でんわ貯金箱 3台

大洲 N.T.T・大洲電報電話局

温かい善意をありがとうございます。感謝をこめて掲載させていただきます。

大洲市社会福祉協議会

後記

いよいよ今年も終わりに近づきました。表紙の「肱川の風景」シリーズも今月号で終わります。

来年は、表紙に何を持ってしようかな、と考えています。なにかと忙しい年末ですが、あまり急いで、交通事故を起こさないよう気をつけてください。